

三小地域学校協働本部通信 vol.03

NEWS LETTER

★ ゲストティーチャーの出前授業 オンライン版 ★

6年総合・キャリア教育



2月17日(水) 講師:イラストレーター・佐山愛さん
ai sayama として活動するイラストレーター・アーティストの佐山さん。絵を描くことはもちろん、メーカーとのコラボ商品やパッケージデザインなどを手掛けます。会社員だった佐山さんがイラストレーターになったきっかけ、小学校時代のこと、現在の仕事についてなど、たくさんのお話を聞くことができました。「人と比べない。自分の良さを掘って」という佐山さんのメッセージで授業は終わりました。

他にも、教育フリーランスとして活動するユーチューバー 偽善者先生、保育士・運動遊び専門リーダーの堀内亮輔さん、東京五輪出場を目指す競泳選手など、多彩な顔ぶれの講師を迎え、全ての授業が大いに盛り上がりました。将来、子どもたちがどんな仕事をするのか、社会に対して何をしたいと思うのか、とても楽しみです。



今の6年生が社会で活躍するのは約20年後くらいでしょうか。その頃の社会では、シンギュラリティ(AIが人間の知能を上回る)が起り、今ある職業の何割かはなくなるのではないかと言われています。そんな社会で生きていくには、どんな人生を送りたいのかという信念が重要になってくると思います。そこで、「どんな大人になりたいのか」ということを考えてほしいと思い、今現在社会で活躍する大人と出会うてもらいました。学習を終えて子どもたちからは、「仕事は自分のやりたいことをやる手段」「人の役に立てる大人になりたい」などの考えが出てきました。大人になったときに、少しでも今回の授業が参考になってくれたら嬉しいです。

(6年3組小島 大樹先生)

3学期の出前授業は、
オンライン開催。
6年キャリア教育で
緊急事態宣言下で、教育活動に制限のあった2月。6年生は、総合の時間・キャリア教育「自己の生き方を見つめよう」で、将来の自分ややりたい職業について考えました。毎回異なる4人のゲストティーチャーを招く形式で、ズームを使ったオンラインインタビューを実施。各方面で活躍する大人や大学生の話を聞くことができました。インタビュー後の質問も多く、将来の自分や社会、なりたい職業について、考える良い機会となりました。

★ ブルーガーデンプロジェクト

by お花畑の会

「三小お花畑の会」は、保護者と地域の方のボランティアサークル。花壇の世話や児童と一緒に「花の子キャラバン隊」など、三小のために花活中です。今回はブルーガーデンプロジェクトをご紹介します。青い花を基調とした三小のブルーガーデンが、頑張っている医療従事者の方に「ありがとう」と感謝の心を表しています。※協働本部はお花畑の会の活動をサポートしています。



コロナ禍、花生産農家さんを支援し医療従事者に感謝の意を表すガーデンを作る「ブルーガーデンプロジェクト」。東京都公園協会がクラウドファンディングで集めた支援金で実施した花苗配布プロジェクトです。三小を含む都内25箇所の中小学校や福祉施設が参加しました。三小では、栽培委員会の5、6年生がお花畑の会のみなさんと一緒に、パンジーやビオラの苗を植えました。

～来年度の学習支援員(登録)を募集しています～

- ☑授業の補助に入って担任をサポート
 - ☑つまづきや不安を抱える児童に寄り添う
 - ☑教員を目指す学生・三小の卒業生(大学生) 希望
 - ☑謝礼あり、週1回・1日3時間～可
- アルバイトが減って困っている学生さん、身近にいらっしゃいませんか？



問い合わせ・ご応募はこちら
↓↓↓
三小地域学校支援協働本部
学習支援コーディネーター
塚松美穂

☒chofu-3sho-gakosien@chofu-schools.jp

向いている人物像
先生になりたい(かも)
子どもが好き
教えることが好き
三小に愛着がある
誰かの役に立ちたい

【協働本部の一年を振り返って】

臨時休校で始まった今年度、学校再開後は、日々コロナの状況に敏感になりながら、手探りで過ごした一年がまもなく終わろうとしています。

運動会、ワイワイ、ハケ岳・日光、発表会…思い出からすっぱり抜け落ちてしまった行事。残念な気持ちを抱えながらも、校内には子どもたちの元気な声が響き、今までと違う日常で前向きに過ごす子どものたくましさ垣間見えました。

「できない」ことを不満に思うより「何ができるか」を考えることが大切。そして「どうすればできるのか」、知恵を絞ってサポートするのが大人の役目なのかもしれません。

制限のある教育活動の中、学習支援員やボランティア、また来校して下さったゲストティーチャーの皆様、ご協力をいただき本当にありがとうございました。

協働本部の目的は「地域と学校が連携・協働して児童の成長を支援すること。学校を取り巻き応援してくれる「人」が増えていくように、次年度も、地域と学校をつないでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

学習支援コーディネーター・塚松美穂